

平成28年度

東北大学大学院
情報科学研究科

博士課程後期3年の課程
学生募集要項
(平成28年4月進学・編入学)

試験日程

平成27年8月26日(水)～8月28日(金)

平成27年6月

情報科学研究科は、情報基礎科学専攻、システム情報科学専攻、人間社会情報科学専攻及び応用情報科学専攻の4専攻で構成されています。

それぞれの学問分野における先端的な教育研究を行うと共に、多様な分野間の学際的研究の発展をめざしています。したがって、既修の専門分野とは異なる分野の教育を受ける道も開かれています。新時代の“情報科学”を創造しようとする意欲的な人の応募を期待します。

アドミッション・ポリシー

本研究科がめざす新しい“情報科学”の創造に貢献できる人を育てるため、本研究科が培ってきた成果をさらに推し進めようとする学生、いくつかの分野にまたがった研究を積極的に進めようとする学生、すでに学んだところとは異なる分野の研究を志す学生、また、多様なバックグラウンドを有する外国人留学生や社会人などの受け入れを推進します。

博士課程（後期）学生支援事業について

情報科学研究科は平成18年度から、専門性に優れた大学院学生を経済的に支援し、学習環境を整備することを目的とした博士課程（後期）学生支援事業を導入しています。

＜詳しいことは、情報科学研究科教務係までお問合せください。＞

1. 募集する専攻及び選抜区分

専 攻	募集人員	備 考
情 報 基 礎 科 学 専 攻	1 1 名	左記の募集人員（進学（注1）および編入学）には、 以下を含みます。 ・社会人編入学選抜（注2）：各専攻4名 ・外国人留学生等編入学選抜（注3）：全専攻で7名
システム情報科学専攻	1 1 名	
人間社会情報科学専攻	1 0 名	
応 用 情 報 科 学 専 攻	1 0 名	
合 計	4 2 名	

（注1） 本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き後期3年の課程に進学する者

（注2） 社会人選抜に出願できる者は、社会人（注4）であって、原則として2年以上の勤務歴を有するか、2年に満たない場合は、編入学後も在職し続ける者で、2. 出願資格2）のいずれかに該当する者（p.5 参照）

（注3） 外国人留学生等編入学選抜に出願できる者は、外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けたもの（これらを「外国人留学生等」と総称する。）で2. 出願資格2）のいずれかに該当する者

2. 出 願 資 格

- 1) 進学志願者として出願できる者は、本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程を平成28年3月に修了見込みのものとします。
- 2) 編入学志願者として出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。
 - (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者（平成28年3月までに取得見込みの者を含む）
 - (2) 外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成28年3月までに取得見込みの者を含む）
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成28年3月までに取得見込みの者を含む）
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成28年3月までに取得見込みの者を含む）
 - (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年3月までに取得見込みの者を含む）
 - (6) 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（平成28年3月までに認められる見込みの者を含む）
 - (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月末日までに24歳に達するもの

- (注4) 社会人とは、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として経験を有する者である。また、職歴がない場合にも、社会人となる場合があるので、情報科学研究科教務係に問い合わせること。
- (注5) 全ての編入学志願者は、事前に必ず配属を希望する研究室（分野）の受入れ予定教員に照会し、編入学後の研究計画等について、確認を受けてください。
- (注6) 出願資格(7)又は(8)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ情報科学研究科教務係及び配属を希望する研究室（分野）の受入れ予定教員に照会し、本研究科が指定する書類を平成27年6月23日（火）までに提出してください。

3. 願 書 受 付

受付期間は、平成27年7月9日（木）から7月15日（水）までとします。

土曜日・日曜日は受付を行いません。

受付時間は、午前9時から午後4時30分までとします。

願書郵送の場合は、出願用封筒を用い速達書留としてください。

なお、郵送で7月16日（木）以降に到着した出願書類等は、7月15日（水）までの消印のあるものに限り受け付けます。

受付場所（郵送先） 東北大学情報科学研究科教務係
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09
電話（022）795-5814

4. 出 願 手 続

出願に必要な書類は、次の表のとおりです。

なお、出願資格(7)又は(8)により出願する場合、資格審査のために提出した書類は、改めて提出する必要はありません。また、進学志願者の検定料は不要です。

〔本研究科からの進学志願者〕

No.	提出書類等	摘 要
1	進 学 願 書 及 び 履 歴 書	本研究科所定の用紙
2	受 験 許 可 書	有職者は、所属長の発行したもの。ただし、在職のまま進学する者に限る（社印等のあるもの・様式任意）。
3	事 務 連 絡 用 封 筒	本研究科所定の封筒 （住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手 362 円分を貼ること。 本学内に送付を希望する場合は、郵便切手を貼らずに朱書きで「学内便」と記入すること。

(注7) 現在の指導教員と進学志願先の受入れ予定教員が異なる場合は、成績証明書を提出してください。

〔編入学志願者及び本学他研究科からの進学志願者〕

No.	提出書類等	摘 要
1	進 学 ・ 編 入 学 願 書 及 び 履 歴 書	本研究科所定の用紙
2	受 験 票 及 び 写 真 票	本研究科所定の用紙（写真票に上半身無帽像で 3 か月以内に撮影した写真 1 枚を貼ること）
3	修了（見込）証明書又は 学位授与（見込）証明書等	出身大学の学長又は大学院研究科長の発行する修了（見込）証明書、又は大学評価・学位授与機構が発行する修士の学位授与（見込）証明書、若しくは最終出身学校等の長の発行する修了（見込）証明書

		ただし、出願資格（6）により出願する者は、上記に代えて、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者であることを記した（見込）証明書を提出すること。
4	成績証明書 （出身大学院等）	出身大学の学長又は大学院研究科長、又は最終出身学校等の長が発行したもの。
	成績証明書 （出身大学（学部））	出身大学の学長又は学部長が発行したもの。 ただし、出願資格(1)、(2)、(3)、(4)、(5)または(6)により出願する者のみ提出すること。
5	TOEFL又はTOEIC スコアシート （注8）	数学群（1群）の外国人留学生等選抜志願者、情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）及び社会科学群（7群）の一般編入学選抜、本学他研究科からの進学試験及び外国人留学生等編入学選抜の志願者は、TOEFL 又は TOEIC スコアシートの原本を提出。 入学試験初日から過去2年以内に受験したもの。
6	受入承諾書	受入れ予定教員が作成したもの（様式任意）。
7	修士論文（コピー可）	修士論文を提出できない者は、研究の要旨を提出すること（2,000字程度、A4判2ページ）。
8	検定料	30,000 円（郵送の場合は普通為替証書*にし、受取人指定欄等は記入しないこと。） ただし、次に該当する者は提出不要 ・進学志願者（本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在学し、平成28年3月修了見込みの者） ・本研究科へ編入学した時に国費外国人留学生である予定の者 ・東日本大震災による入学検定料免除該当者
9	領収書・領収書（控）	本研究科所定の用紙（出願者氏名を記入のこと） ただし、次に該当する者は提出不要 ・進学志願者（本学大学院博士課程前期2年の課程、修士課程又は専門職学位課程に在学し、平成28年3月修了見込みの者） ・本研究科へ編入学した時に国費外国人留学生である予定の者 ・東日本大震災による入学検定料免除該当者
10	受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒 （住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ること。 本学内に送付を希望する場合は、郵便切手を貼らずに朱書きで「学内便」と記入すること。）
11	事務連絡用封筒	本研究科所定の封筒 （住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ること。 本学内に送付を希望する場合は、郵便切手を貼らずに朱書きで「学内便」と記入すること。）

*郵便局の貯金窓口に検定料と手数料を添えてお申込みください。

（注8）TOEFL-iBT、TOEFL-PBT および TOEIC 公開テストのいずれかの試験の成績を採用します。団体受験用の TOEFL-ITP および TOEIC-IP テストは認めません。タイプの異なる複数の試験のスコアを提出することもできます。出願時（願書受付期間最終日まで）に提出しない者は、英語の評価は0点とします。

なお、提出が必要な志願者は次のとおりです。詳細は、p8～p.14 を参照してください。

- ・数学群（1群）：外国人留学生等編入学選抜の志願者
 - ・情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）、社会科学群（7群）：一般編入学選抜、本学他研究科からの進学試験及び外国人留学生等編入学選抜の志願者
- ただし、1群、2群及び3群については、英語を母国語とする志願者は個別に問合せください。

- ◎ 社会人編入学選抜及び外国人留学生等編入学選抜の志願者は、上記書類のほか、それぞれ次の書類を提出してください。

〔社会人編入学選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘 要
1	受 験 許 可 書	有職者は、所属長の発行したもの。(社印等のあるもの・様式任意)
2	在 職 証 明 書	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの。(社印等のあるもの・様式任意)
3	志 願 理 由 書	関心をもつ分野、将来の目標等 (A4 判用紙に記載したもの)
4	研 究 計 画 書	A4 判用紙に記載したもの。(2,000 字程度)。
5	研 究 経 過 説 明 書	修士論文又は勤務先での研究業績等の内容説明 (A4 判用紙に記載したもの)
6	研 究 業 績 リ ス ト	研究論文や特許のリスト (連名の場合は自己の貢献度を%表示する。A4 判用紙に記載したもの)

〔外国人留学生等編入学選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘 要
1	推 薦 書	出身大学院の指導教員またはそれに準ずる者が作成したもの (様式任意)。ただし、日本国内の大学院を修了した者又は平成 28 年 3 月までに修了見込みの者は、提出する必要はない。
2	そ の 他	学力を表す論文・報告書がある場合は提出すること。
3	国費外国人留学生証明書	他大学院に在学している国費外国人留学生のみ (在籍大学の発行する証明書)
4	受 験 許 可 書	有職者は、所属長の発行したもの。(社印等のあるもの・様式任意)

5. 選 抜 方 法

1) 本研究科からの進学試験

選抜は、博士課程前期 2 年の課程の成績及び人物考査等により判断します。

2) 一般編入学選抜、本学他研究科からの進学試験及び外国人留学生等編入学選抜

選抜は、原則として、筆答試験、口述試験、成績証明書及びその他の提出書類を総合して判断します。

志願者は、「研究室 (分野) 一覧」(p. 17～p. 19) 及び本研究科ウェブサイト (<http://www.is.tohoku.ac.jp/entrance/>) を参照して配属希望の研究室 (分野) を選択し、その研究室 (分野) の専門試験科目群の筆答試験と口述試験を受験してください。

群番号、研究室番号及び専攻の対応は、表－1 のとおりです。また、各専門試験科目群の試験内容は、p. 8～p. 14 に記載のとおりです。

なお、本学他研究科からの進学試験の志願者で本研究科の受入れ予定教員が修士論文の審査委員となっている場合、出身研究科前期課程の成績をもって筆答試験に代えることがあります。

表－1

専門試験科目群		研 究 室 番 号	専 攻
群番号	名 称		
1	数 学 群	A01-1, A01-2, A02-1, A02-2, A03 A04	情 報 基 礎 科 学 専 攻

		B01-1, B01-2, B02-1, B02-2, B02-3 B03	システム情報科学専攻
2	情報・生命系群	A05, A07, A08, A09, A10, A11, A13 A14, A16, A17	情報基礎科学専攻
		B04, B05, B06, B07, B08, B11, B12 B13-1, B13-2, B15	システム情報科学専攻
		D01, D02, D04, D05, D07, D08, D10 D11, D12, D13	応用情報科学専攻
3	機械・知能系群	A06-1, A06-2, A12, A15-1, A15-2 A15-3	情報基礎科学専攻
		B09, B10-1, B10-2, B14	システム情報科学専攻
		D03-1, D03-2, D09	応用情報科学専攻
4	土 木 工 学 群	C11-1, C11-2, C12-1, C12-2, C13-1 C13-2	人間社会情報科学専攻
5	言語・メディア群	C01, C06, C14, C15	人間社会情報科学専攻
6	心 理 ・ 哲 学 群	C02, C03, C04, C05, C16	人間社会情報科学専攻
		D06	応用情報科学専攻
7	社 会 科 学 群	C07, C08, C09, C10	人間社会情報科学専攻

※上記のほか、以下のような受験方法を選択することができます。

特別受験方法 上記の筆答試験・口述試験に代えて、自分のバックグラウンドに関連した筆答試験、小論文、口頭試問、外国語科目（英語）等による試験を受ける（事前の書類審査によっては、この方法による受験が許可されない場合があります）。

この特別受験方法を希望する者は、平成27年6月23日（火）までに、必ず情報科学研究科教務係及び配属を希望する研究室（分野）の受け入れ予定教員に問合せて、具体的な受験方法を確認してください。

(1) 選抜試験日程

平成27年8月26日（水）から8月28日（金）までの間に p. 8～p. 14 の日程により、専門試験科目群ごとに行います。

(2) 試験会場及び試験日時

試験会場及び詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

試験日時等については、後掲（p. 8 以降）の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を参照してください。

3) 社会人編入学選抜

社会人編入学は、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として、原則として2年以上勤務した経験がある者、又は勤務経験が2年未満の場合は、編入学後も技術者・教員・研究者の身分を有する者を対象とします。社会人が職場での経験を勉学・研究に生かすとともに、さらにその知識・技術をリフレッシュし、あるいは新たな分野の知識・技術を修得し、創造的能力を発展させることを目的としています。

選抜に当たっては、原則として小論文、口述試験及び提出書類の審査によって社会人としての業務歴又は研究内容、基礎学力の評価等を総合的に判断します。また、専攻しようとする研究分野とこれまでの業務歴・研究歴との関係を重視します。

各専門試験科目群の試験日程及び試験内容は、p. 15～p. 16 に記載のとおりです。また、試験会場は、前記2) 一般編入学選抜及び本学他研究科からの進学試験および外国人留学生等編入学選抜に同じです。

6. 合格者の発表

平成27年9月4日（金）午後5時に合格者の受験記号番号を本研究科ウェブサイトに掲載します。（<http://www.is.tohoku.ac.jp/exam/result.html>）

なお、志願者に対しては、事務連絡用封筒により結果を通知します。

7. 大学院設置基準第14条による特例の適用

有職者で、大学院設置基準第14条による特例（有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間は通常の授業時間帯及び通常の時間帯以外の特定の時間又は時期に設ける）による教育の実施を希望する者は、合格発表後、速やかに受入れ予定教員と面談し、今後の研究・学習計画等について相談してください。

8. 長期履修学生制度の適用

本研究科では、職業を有している等の事情（注9）によって、標準修業年限である3年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する（注10）ことを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といいます。

この制度に関する照会は随時受け付けますが、適用申請方法等については、合格者発表後に送付する進学及び編入学手続に関する書類で通知します。

（注9）該当者： ①企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者、②出産、育児、介護等を行う必要のある者、③その他、本研究科が適当と認める者

（注10）在学年限は6年を超えることはできません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出ることとはできません。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意はしません。

9. 進学及び編入学手続

進学及び編入学手続等については、平成28年2月下旬に本人あて通知します。

10. 必要経費

(1) 進学者

授業料 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

(2) 編入学者

入学料 282,000 円（予定額）

授業料 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

(1)、(2) 共通

（注11）東北大学在学中の授業料は、指定銀行の預金口座からの自動引落しにより、大学に納付していただくことになります。なお、上記金額は予定額であり、授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新授業料等が適用されます。

（注12）入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、平成28年2月下旬に送付する進学又は編入学手続に関する書類で通知します。

11. 注意事項

(1) 出願書類及び検定料は返付しません。

(2) 受験票が試験日10日前になっても到着しない場合は、情報科学研究科教務係に問い合わせてください。

(3) 受験及び修学上の配慮を必要とする進学・編入学志願者のための相談を行っていますので、該当者は、平成27年6月23日（火）までに情報科学研究科教務係に相談してください。

(4) 郵便で出願書類を請求する場合は、住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手 205 円分を貼った返信用封筒（角形 2 号：約 34cm×約 24cm）を同封してください。

また、研究科の詳細を案内したパンフレットも希望する場合は、請求封筒にその旨を朱書きし、郵便切手 400 円分を貼った返信用封筒（形式は同上）を同封してください。

(5) 平成 28 年度東北大学大学院情報科学研究科の入学試験を受験し、不合格になった方に対して、入学試験成績の開示をいたします。希望する方は、教務係に手続き等について照会してください。申請は、合格発表日より 90 日以内に受験者本人からの開示請求（所定の申請書）があったものに限り認めます。

(6) 個人情報の取り扱いについて

①入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の実施、入学手続、入学後の学生支援関係（奨学及び授業料免除、健康管理等）及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の業務を行うために利用し、この目的以外には利用しません。

②入学者選抜の過程で収集した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取扱い、本人の承諾なく、第三者に開示・提供しません。

③東北大学大学院情報科学研究科に出願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

平成 27 年 6 月

東北大学大学院情報科学研究科

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

電話（022）795－5814

<http://www.is.tohoku.ac.jp/>

専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容

平成28年4月

後期3年の課程 一般編入学選抜および本学他研究科からの進学試験

群番号1 数学群	
筆 答 試 験 ※	専門科目 8月27日(木) 10:00～13:00 微分積分(2題)、線形代数(1題)、応用数理(1題)、離散数学(1題)、確率・統計(1題)、複素解析(1題)、微分方程式(1題)、幾何学(1題)、代数学(1題)の10題から3題選択。 また、試験当日与えられる課題についての小論文
	英語 8月27日(木) 14:30～15:30
口 述 試 験	8月28日(金) 10:00～ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号2 情報・生命系群	
筆 答 試 験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFLの場合はExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)であり、TOEICの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL Official Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。
	基礎科目 8月26日(水) 9:30～11:30 物理・情報系:電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎1、物理基礎2の6題から2題選択 医学・生物系:分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の5題から2題選択
	注意:受験する系(物理・情報あるいは医学・生物)を願書の専門試験科目群名(情報・生命系群)とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/pastexam.html のウェブサイトで確認すること。
口 述 試 験	8月27日(木)又は8月28日(金) 実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(予定)の内容について20分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料(A4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号3 機械・知能系群	
筆 答 試 験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL 又は TOEIC のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149) 。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。
	数 学 A 8月26日(水) 9:30~11:00 (集合時間 9:00) 微積分、線形代数、ベクトル解析、常微分方程式
	数 学 B 8月26日(水) 13:30~15:00 フーリエ級数・変換、ラプラス変換、偏微分方程式
	専門科目 8月27日(木) 9:00~12:00 (集合時間 8:30) (下記8科目から2科目選択) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学
口 述 試 験	8月28日(金) 集合時間は別途連絡する。 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日13部持参すること。

群番号4 土木工学群	
口 述 試 験	8月26日(水)又は8月27日(木):試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)の内容を15分程度で発表(PCプロジェクター使用可。ただし、PCプロジェクターを使用する場合は、事前に教務係に問合せること)。発表の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日8部持参すること。
筆 答 試 験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL 又は TOEIC のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149) 。

群番号5 言語・メディア群	
筆 答 試 験 ※	専門科目 8月27日(木) 10:00~13:00 一般言語学、統語論、意味論、形態論、記号論、文学理論、作品解釈論、メディア論、情報リテラシー論、文化研究、ドイツ語・フランス語の分野から3問を選択解答する。ただし、言語系、メディア系のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から少なくとも2問を選択解答すること。 注意:ドイツ語・フランス語を選択した者は辞書使用可。辞書は出題者が用意する。
	外 国 語 8月27日(木) 14:30~15:30 英語
口 述 試 験	8月28日(金) 10:00~ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について15分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

平成28年4月

後期3年の課程 一般編入学選抜および本学他研究科からの進学試験

群番号6 心理・哲学群	
筆 答 試 験 ※	専門科目 8月27日(木) 10:00～13:00 心理学(心理学史、認知、学習・記憶、パーソナリティ)、哲学(哲学史)に関する12題の中から2題選択 また、認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学に配属を希望するものは、小論文を作成すること(課題は試験場で指示する)。
	外国語 8月27日(木) 14:30～15:30 英語
口 述 試 験	8月28日(金) 10:00～ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号7 社会科学群	
筆 答 試 験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFLの場合はExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)であり、TOEICの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL Official Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するように各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。
	専門科目 8月27日(木) 10:00～13:00 以下のうち1つの学系を選択 社会学系:社会学史、現代社会論、地域社会学、家族社会学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 政治学系:政治意識論、行政学、政治過程論、統計学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 経済学系:ミクロ経済学、マクロ経済学、都市・地域経済学、統計学、経済数学を範囲とする5問題から3問題選択 必要に応じて電卓を出題者が用意する。 ※受験する学系(社会学系、政治学系、あるいは経済学系)を願書の専門受験科目群名(社会科学群)と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。
口 述 試 験	8月28日(金) 10:00～ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。
ただし、2,3,4,7群については、TOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を、出願時に必ず提出してください。

群番号1 数学群	
筆 答 試 験 ※	専門科目 8月27日(木) 10:00～13:00 微分積分(2題)、線形代数(1題)、応用数理(1題)、離散数学(1題)、確率・統計(1題)、複素解析(1題)、微分方程式(1題)、幾何学(1題)、代数学(1題)の10題から3題選択。 また、試験当日与えられる課題についての小論文
	英語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFLの場合はExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)であり、TOEICの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL Official Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問い合わせること。
口 述 試 験	8月28日(金) 10:00～ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号2 情報・生命系群	
筆 答 試 験 ※	基礎科目 8月26日(水) 9:30～11:30 物理・情報系:電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎1、物理基礎2の6題から2題選択 医学・生物系:分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の5題から2題選択
	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFLの場合はExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)であり、TOEICの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL Official Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。
	注意:受験する系(物理・情報あるいは医学・生物)を願書の専門試験科目群名(情報・生命系群)とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいはhttp://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/pastexam.htmlのウェブサイトを確認すること。
口 述 試 験	8月27日(木)又は8月28日(金) 実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(予定)の内容について20分程度で発表。 なお、発表する内容に関する資料(A4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号3 機械・知能系群	
筆 答 試 験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFLの場合はExaminee's Score Record（受験者用控えスコア票）であり、TOEICの場合はOfficial Score Certificate（公式認定証）である。TOEFL Official Score Report（公式スコア票）を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するよう各自手配すること（送付のための本研究科DIコードは2149）。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。
	数 学 A 8月26日（水） 9：30～11：00（集合時間 9：00） 微積分、線形代数、ベクトル解析、常微分方程式
	数 学 B 8月26日（水） 13：30～15：00 フーリエ級数・変換、ラプラス変換、偏微分方程式
	専門科目 8月27日（木） 9：00～12：00（集合時間 8：30） （下記8科目から2科目選択） 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学
口 述 試 験	8月28日（金） 集合時間は別途連絡する。 筆答試験で合格した者及び筆答試験免除の者のみ口述試験を行う。出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文（現在作成中のものも含む）について20分程度で発表（PCプロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日13部持参すること。

群番号4 土木工学群	
口 述 試 験	8月26日（水）又は8月27日（木）：試験日時については別途連絡する。 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文（現在作成中のものも含む）の内容を15分程度で発表（PCプロジェクター使用可。ただし、PCプロジェクターを使用する場合は、事前に教務係に問合せること）。発表の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日8部持参すること。
筆 答 試 験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFLの場合はExaminee's Score Record（受験者用控えスコア票）であり、TOEICの場合はOfficial Score Certificate（公式認定証）である。TOEFL Official Score Report（公式スコア票）を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するよう各自手配すること（送付のための本研究科DIコードは2149）。
	専門科目 8月26日（水） 13：00～15：00 志願者の専門分野を考慮した科目について筆記試験を行う。
	備 考 （1）専門科目については、出題される4問のうち3問を選択する。 （2）専門科目の試験内容については指導予定教員に照会すること。

群番号5 言語・メディア群	
筆 答 試 験 ※	専門科目 8月27日(木) 10:00～13:00 一般言語学、統語論、意味論、形態論、記号論、文学理論、作品解釈論、メディア論、情報リテラシー論、文化研究、ドイツ語・フランス語の分野から2問を選択解答する。ただし、言語系、メディア系のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から選択解答すること。 注意：ドイツ語・フランス語を選択した者は辞書使用可。辞書は出題者が用意する。
	外国語 8月27日(木) 14:30～15:30 英語又は日本語
口 述 試 験	8月28日(金) 10:00～ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について15分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。本学出身の外国人留学生については上記の発表は不要である。ただし、修了(予定)の論文内容、編入学後の研究希望等について試問する。

群番号6 心理・哲学群	
筆 答 試 験 ※	専門科目 8月27日(木) 10:00～13:00 心理学(心理学史、認知、学習・記憶、パーソナリティ)、哲学(哲学史)に関する12題の中から2題選択 また、認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学に配属を希望するものは、小論文を作成すること(課題は試験場で指示する)。
	外国語 8月27日(木) 14:30～15:30 英語及び日本語
口 述 試 験	8月28日(金) 10:00～ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。本学出身の外国人留学生については上記の発表は不要である。ただし、修了(予定)の論文内容、編入学後の研究希望等について試問する。

群番号7 社会科学群	
筆 答 試 験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL又はTOEICのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFLの場合はExaminee's Score Record（受験者用控えスコア票）であり、TOEICの場合はOfficial Score Certificate（公式認定証）である。TOEFL Official Score Report（公式スコア票）を送付する場合は、願書受付期間最終日までに本研究科に到着するよう各自手配すること（送付のための本研究科DIコードは2149）。
	専門科目 8月27日（木）10:00～13:00 以下のうち1つの学系を選択 社会学系：社会学史、現代社会論、地域社会学、家族社会学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 政治学系：政治意識論、行政学、政治過程論、統計学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 経済学系：ミクロ経済学、マクロ経済学、都市・地域経済学、統計学、経済数学を範囲とする5問題から3問題選択 英語で解答することもできる。必要に応じて電卓を出題者が用意する。 ※受験する学系（社会学系、政治学系、あるいは経済学系）を願書の専門受験科目群名（社会科学群）と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。
口 述 試 験	8月28日（金）10:00～ 出身大学院で受けた教育の内容又は修士論文（現在作成中のものも含む）について20分程度で発表（PCプロジェクター使用可）。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日5部持参すること。発表は英語で行うこともできる。

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。
ただし、1, 2, 3, 4, 7 群については、TOEFL 又は TOEIC のスコアシートの原本を、出願時に必ず提出してください。

群番号1 数学群	
小論文	8月28日（金）10:00～11:30 数学における基礎的な概念や用語の理解度を問う出題を含む。
口述試験	8月28日（金）13:30～ 勤務先において又は個人で主として研究した数学の分野について20分程度で発表する（PCプロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日5部持参すること。

群番号2 情報・生命系群	
口述試験	8月27日（木）又は8月28日（金）試験日時については別途連絡する。 これまでの研究（業務）の内容及び入学後の研究希望等について20分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日5部持参すること。

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験	数学A、数学B及び専門科目の計10科目から2科目を選択（あらかじめ申告すること） 専門科目の筆答試験終了時刻は、選択する科目により異なる。
	数 学 A 8月26日（水） 9:30～11:00（集合時間 9:00） 微積分、線形代数、ベクトル解析、常微分方程式
	数 学 B 8月26日（水） 13:30～15:00 フーリエ級数・変換、ラプラス変換、偏微分方程式
	専門科目 8月27日（木） 9:00～12:00（集合時間 8:30） 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学
口述試験	8月28日（金） 集合時間は別途連絡する。 筆答試験で合格した者及び筆答試験免除の者のみ口述試験を行う。これまでの研究内容及び入学後の研究希望等について15分程度で発表（PCプロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等はA4判用紙に記載したもの）を、当日13部持参すること。 英語の能力を問う場合もある。
	備 考 提出書類による事前審査によって、筆答試験を免除することがある。 詳細は機械・知能系群に問合せること。 照会先：機械・知能系教務担当（TEL）022-795-7030

群番号4 土木工学群	
小論文	8月26日（水） 9:30～11:00 土木工学関連のテーマ
口述試験	8月26日（水）又は8月27日（木）：試験日時については別途連絡する。 勤務先における研究（業務）内容について15分程度で発表（PCプロジェクター使用可。ただし、PCプロジェクターを使用する場合は、事前に教務係に問合せること）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日8部持参すること。

群番号5 言語・メディア群	
小論文	8月27日（木）10:00～11:30 当日指定する論述問題に解答する。
口述試験	8月28日（金）10:00～ 試験実施時間については別途連絡する。 勤務先における研究（業務）及び今後の研究計画について15分程度で発表（PCプロジェクター使用可）。なお、発表内容に関する資料（発表要旨・図表等をA4判用紙に記載したもの）を、当日5部持参すること。

群番号6 心理・哲学群	
小論文	8月27日（木）10:00～11:30 テーマは当日提示する。
口述試験	8月28日（金）10:00～ 勤務先における研究（業務）内容及び入学後の研究計画を20分程度で発表（PCプロジェクター使用可）。なお、発表内容に関する資料（発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日5部持参すること。

群番号7 社会科学群	
小論文	8月27日（木）10:00～13:00 試験時に指示される課題から1題を選択し小論文を作成すること。 社会学・政治学・経済学の範囲から希望研究分野に関連した課題が出題される。
口述試験	8月28日（金） 試験実施時間については別途連絡する。 勤務先における研究（業務）内容を20分程度で発表（PCプロジェクター使用可。）。10分程度で試問する。なお、発表内容に関する資料（発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの）を、当日5部持参すること。

平成28年度 東北大学大学院情報科学研究科「研究室（分野）一覧」

○各研究室（分野）の研究内容等は本研究科ウェブサイト（<http://www.is.tohoku.ac.jp/entrance/>）を参照してください。

群番号	名称	講座名	研究室（分野）名	研究室番号	教員名	専攻
1	数 学 群	情報基礎数理学講座	情報基礎数理学Ⅰ	A01-1	教授 宗政 昭弘	情報基礎科学専攻
				A01-2	准教授 島倉 裕樹	
			情報基礎数理学Ⅱ	A02-1	教授 須川 敏幸	
				A02-2	准教授 田中 太初	
			情報基礎数理学Ⅲ	A03	教授 村上 齊	
			情報基礎数理学Ⅳ	A04	教授 瀬野 裕美	
		システム情報数理学講座	システム情報数理学Ⅰ	B01-1	教授 原田 昌晃	システム情報科学専攻
				B01-2	准教授 正宗 淳	
			システム情報数理学Ⅱ	B02-1	教授 尾畑 伸明	
				B02-2	准教授 福泉 麗佳	
				B02-3	准教授 瀬川 悦生	
			システム情報数理学Ⅲ	B03	教授 坂口 茂	
2	情報・生命系群	情報応用数理学講座	情報統計物理学	A05	(未定)	情報基礎科学専攻
		計算科学講座	計算理論	A07	(未定)	
			計算機構論	A08	教授 青木 孝文 准教授 本間 尚文	
			知能集積システム学	A09	准教授 張山 昌論	
		ソフトウェア科学講座	ファームウェア科学	A10	(未定)	
			ソフトウェア基礎科学	A11	教授 住井英二郎 准教授 松田 一孝	
		情報論理学講座	情報論理学	A13	教授 外山 芳人** 准教授 青戸 等人	
		コミュニケーション論講座	コミュニケーション論	A14	教授 木下 哲男 准教授 北形 元	
		情報セキュリティ論講座	情報セキュリティ論	A16	教授 静谷 啓樹 准教授 酒井 正夫 准教授 磯辺 秀司	
		広域情報処理論講座	広域情報処理論	A17	教授 工藤 純一	
		知能情報科学講座	アルゴリズム論	B04	教授 周 暁 准教授 伊藤 健洋	システム情報科学専攻
			知能システム科学	B05	教授 篠原 歩	
			情報伝達学	B06	教授 乾 健太郎 准教授 岡崎 直観	
		生体システム情報学講座	情報生物学	B07	教授 井樋 慶一	
			情報システム評価学	B08	教授 徳山 豪 准教授 全 眞嬉	

群番号	名称	講座名	研究室（分野）名	研究室番号	教員名	専攻
2	情報・生命系群	音 情 報 科 学 講 座	音情報科学	B11	教 授 鈴木 陽一 准教授 坂本 修一	システム情報科学専攻
		高次視覚情報学講座	高次視覚情報学	B12	教 授 塩入 諭 准教授 栗木 一郎	
		情報コンテンツ学講座	情報コンテンツ学	B13-1	教 授 北村 喜文	
				B13-2	准教授 青木 輝勝	
		ソフトウェア構成論講座	ソフトウェア構成論	B15	教 授 大堀 淳	応用情報科学専攻
		応用情報技術論講座	物理フラクチュオマティクス論	D01	教 授 田中 和之 准教授 和泉 勇治	
			情報通信技術論	D02	教 授 加藤 寧 准教授 西山 大樹	
		応用生命情報学講座	生命情報システム科学	D04	教 授 木下 賢吾 准教授 大林 武	
			バイオモデリング論	D05	教 授 中尾 光之 准教授 片山 統裕	
		情報通信ソフトウェア学講座	情報通信ソフトウェア学	D07	教 授 菅沼 拓夫 准教授 阿部 享	
		情報ネットワーク論講座	情報ネットワーク論	D08	教 授 曾根 秀昭 准教授 水木 敬明	
		ブレインファンクション集積学講座	ブレインファンクション集積学	D10	(未定)	
		健康情報学講座	健康情報学	D11	教 授 木内 喜孝 教 授 伊藤 千裕 准教授 小川 晋 准教授 佐藤 公雄	
		複雑系統計科学講座	複雑系統計科学	D12	教 授 吉本 敦 准教授 瀧澤 由美 准教授 三分一史和	
		バイオメディカル情報解析学	バイオメディカル情報解析学	D13	教 授 長崎 正朗 准教授 山下 理宇	
3	機械・知能系群	情報応用数理学講座	計算数理科学	A06-1	教 授 山本 悟	情報基礎科学専攻
				A06-2	准教授 佐野健太郎	
		ソフトウェア科学講座	アーキテクチャ学	A12	教授(兼)山本 悟 准教授 滝沢 寛之	
		超高速情報処理論講座	超高速情報処理論	A15-1	教 授 小林 広明	
				A15-2	准教授 後藤 英昭	
				A15-3	准教授 江川 隆輔	
		知能ロボティクス学講座	イメージ解析学	B09	教 授 岡谷 貴之	システム情報科学専攻
			知能制御システム学	B10-1	教 授 橋本 浩一	
				B10-2	准教授 鏡 慎吾	
		融合流体情報学講座	融合流体情報学	B14	教 授 石本 淳	応用情報科学専攻
		応用情報技術論講座	人間-ロボット情報学	D03-1	教 授 田所 諭	
				D03-2	准教授 昆陽 雅司	
		流動システム情報学講座	流動システム情報学	D09	教 授 服部 裕司	

群 番号	名 称	講座名	研究室（分野）名	研究室 番号	教員名	専 攻
4	土 木 工 学 群	人 間 社 会 計 画 学 講 座	空間計画科学	C11-1	教 授 桑原 雅夫	人 間 社 会 情 報 科 学 専 攻
				C11-2	准教授 井上 亮	
			社会システム計画学	C12-1	教 授 河野 達仁	
				C12-2	准教授 福本 潤也	
			交通制御学	C13-1	教 授 赤松 隆	
				C13-2	准教授 林 俊介	
5	言 語 ・ メ デ ィ ア 群	人 間 情 報 学 講 座	言語情報学	C01	准教授 菊地 朗	人 間 社 会 情 報 科 学 専 攻
			言語テキスト解析論	C06	教 授 小川 芳樹 准教授 長野 明子	
		メ デ ィ ア 情 報 学 講 座	メディア文化論	C14	教 授 堀田 龍也 講 師 坂田 邦子	
			メディア記号論	C15	准教授 窪 俊一 准教授 森田 直子	
6	心 理 ・ 哲 学 群	人 間 情 報 学 講 座	学習心理情報学	C02	(未定)	人 間 社 会 情 報 科 学 専 攻
			認知心理情報学	C03	准教授 和田 裕一	
			人間情報哲学	C04	教 授 森 一郎	
			論理分析学	C05	准教授 篠澤 和久	
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 心 理 学 講 座	コミュニケーション 心理学	C16	教 授 邑本 俊亮	応用情報科学専攻
		応用生命情報学講座	認知情報学	D06	(未定)	
7	社 会 科 学 群	社 会 政 治 情 報 学 講 座	社会構造変動論	C07	教 授 小林 一穂* 准教授 徳川 直人	人 間 社 会 情 報 科 学 専 攻
			政治情報学	C08	准教授 河村 和徳	
		社 会 経 済 情 報 学 講 座	都市社会経済システム分析	C09	教 授 曾 道智 准教授 伊藤 亮	
			地域計量システム分析	C10	教 授 安藤 朝夫*	

*印の教員は、平成 29 年 3 月退職予定です。

**印の教員は、平成 30 年 3 月退職予定です。